

恥かし財津の旅日記

2月のうららかな日曜日、備前福岡へ行って来ました。
 備前福岡(長船町)ってエピソード満載の土地って知ってました?
 ① 鎌倉から室町時代にかけて備前福岡は西日本一の商郡だった。
 水運に恵まれた吉井川と山陽道の交差点にあった備前福岡は近隣の備前長船が刃剣の一大産地(多い時は1000軒の刃かじ屋があった)だった事もあり5000~1万人の人口だったらしい。商家も1000軒あった?らしい。鎌倉幕府のあった鎌倉で23000人9000軒というのと比較してもおどかないですか。現在の大阪の様な町が備前福岡にあったという誤解。

② 九州福岡県って備前福岡がルーツである。
 黒田官兵衛の息子長政は、関ヶ原の戦いの後、筑前52万石をもらって黒田家のルーツにちなみ居城を福岡城と命名。現在の福岡県の名前の由来である。黒田家は近江(滋賀)から移り住み、官兵衛のぬいじいさんの頃には「珍珠膏」という目薬を、刃かじ職人に売り大きな財を作り上げる。一刃かじは、鉄が赤くなった物を見るので眼病が多かった一財力と知力で戦国さっての軍師が誕生するのである。黒田家先祖の墓が、備前福岡の妙興寺(大きいお寺)にある。

③ 岡山城を築いた宇喜多直家は福岡(備前をばふく)に系録ゆかりがある。
 宇喜多直家は邑久の砦石城の領主の孫として生まれた。祖父が謀反(むぼん)により死に、約8才の頃福岡の豪商阿部家にかくまわれ生き延びる。長じて直家は戦上手で次第にのし上がり、備前・備中・美作を手に入れた。旭川の辺り現在の石山公園の場所に邑山城(おかせま)を築き、城下に福岡1000軒(?)の商人を呼び寄せ福岡町が作られた。表ハケ町の以前の名である。

④ 福岡には、七口・七井戸・七曲という不思議な場所がある。
 岡山に商人が移った為、一時福岡は衰退しますが、池田家の支援で町が整備され七口-吉井川の良質な飲用水。酒造りにも使われた。
 七井戸-洗たくその他生活用水。消火用。今も4ヶ所残っている。
 七曲-町並を直角にせお、ずらす事で防御しやすくした。永道水が通った後も住民達の自治管理で大切に保存されている。

⑤ 大正ロマンが息づく仲崎家の名建築は一見の価値あり
 明治から大正にかけて、4km四方の農地を有した大地主の仲崎家は10数年の年月と金に糸目をつけず費用をかけ、見た目には、絢爛豪華さはなく、隅々にこだわった名建築を残しました。最高の木材・庭石を使って、棟梁・建具職人・石工の技術の結晶を見る事ができます。非常に品格がありご当主の人柄が分かります。国登録文化財として保存に力が入るそうです。

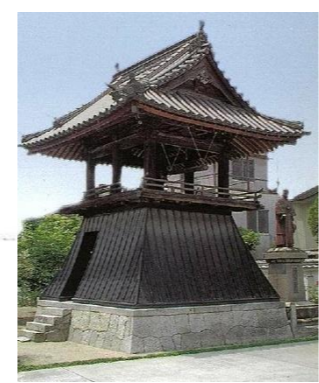
参考文献
 岡山のトリセツ、郷土資料館パンフレットより



鹿田薬局
楽楽ニユース
 第68号
 岡山市北区厚生町
 2-7-15
 (086)226-3711



七つ井戸



妙興寺
 鐘楼堂

慣れない環境、気分がのらない...

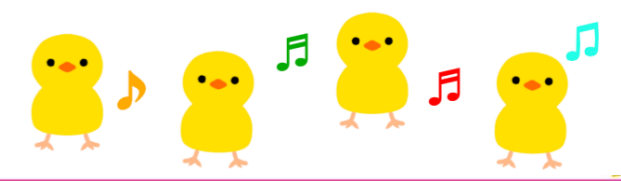
食欲が無い...
ストレスかな?

新しい環境、緊張しちゃってドキドキ...

緊張や不安、ずっと続いてお腹の調子が...

朝、なかなか起きられない!

こんなお悩みの方ご相談ください。



お花のプレゼントキャンペーン

【引き換え期間】
令和5年2月27日(月)~3月1日(水)

処方箋以外の商品を**3,000円以上**ご購入の方に**素敵なお花をプレゼント!**

当日お買い物をされる方、事前に お花引換券をお持ちの方ぜひお越しください。